

7月4日(土)正午からアスパアこだま内に

塙保己一記念館 リニューアルオープン



塙保己一は、市が世界に誇る偉大な国学者です。盲目という大きな障害を抱えながら「群書類従」の編さんや「和学講談所」の設立など多くの偉業を成し遂げました。

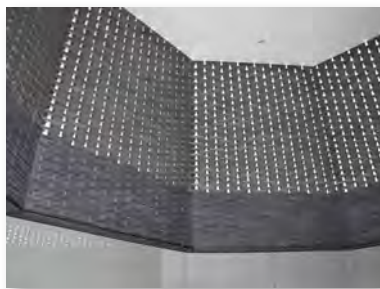
市では、その業績を顕彰するため記念館を設置しています。このたびはその顕彰活動をより充実させ、広く発信するため、アスパアこだま内に新たに記念館を建設しました。この機会にぜひご来館ください。

■新記念館の特徴

建物

透かし煉瓦から採光

トップライトから透かし煉瓦積みのでき面を通して自然光を間接的に取り入れ、ほのかな光を味わえる設計です。



透かし煉瓦

内部展示

3色のテーマカラー

塙保己一が失明する前に見た草花を通して覚えていた色といわれている「すみれの紫」「柚の黄色」、「ほおずきの赤」の3色をテーマカラーとし、室内展示に展開します。



すみれ



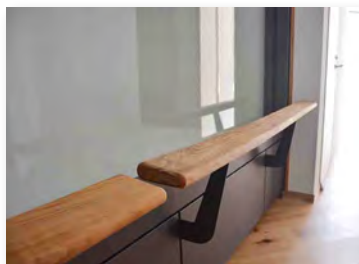
柚



ほおずき

材質にもこだわりを

展示室内部の手すりは、群書類従の版木と同じ材質とし、今回のアスパアこだま建設に伴い伐採された総合支所敷地内にあった桜の木を再利用しています。



手すり

塙保己一と故郷のつながり

塙保己一の大きな業績である群書類従の編さんや和学講談所の紹介を中心としつつ、故郷に建つ記念館として、塙保己一とふるさととの関わりにも重点を置いた展示としました。また、ヘレンケラーが人生の目標にしたという話や埼玉の3偉人にちなんだコーナーも設置します。

リニューアルオープン企画

期間限定で、渋谷区の温故学会から「保己一愛用の机」や「塙家の短刀」など、両親の菩提寺である寶相寺から、塙保己一が両親の菩提を弔うために寺に贈った「燭台」、さらに児玉中学校で保管している群書類従の版木2点を初めて展示します。



群書類従の版木

バリアフリーにも配慮

高齢者や障害者、特に視覚障害者に配慮し、触って読める触知案内板や音声ガイドなどを採用。コーナー解説板は、版木が原稿用紙のものになったことにちなみ400字詰め原稿用紙風に作成し、触って読めるように配慮しています。

その他

映像資料も用意

ホワイエの映像コーナーで、大人用、子ども用、2種類の映像資料を見ることが出来ます。



ホワイエ

※新記念館への移転に伴い、現在の記念館は休館しています。
★文化財保護課 ☎1186



6月1日(月)から はにぼんプラザ 利用開始



★市民活動推進課 ☎0828

市では、市民のみなさんが主役となって活動する交流の拠点として、市民活動交流センター(愛称:はにぼんプラザ)の利用を開始します。

6月1日(月)からの利用開始に当たり、はにぼんプラザの利用内容をお知らせします。

利用開始日 6月1日(月)

利用時間 午前9時～午後10時(開館時間 午前8時30分～午後10時)

休館日 12月29日～1月3日

利用できる人 どなたでも

※予約が必要な施設を利用できる人は、市内で市民活動及び市民交流を行う個人又は法人その他の団体に限りです。

予約方法 はにぼんプラザ1階窓口で利用申請書を記入し、所定の使用料をお支払いください。

予約開始日 登録団体は利用する日の月の4か月前の初日から、一般利用者は3か月前の初日から予約できます。

例 10月1日(休)～31日(出)の利用予約の場合、登録団体は6月1日(月)から、一般利用者は7月1日(火)から予約できます。

※団体登録は随時受け付けています。

1階



多目的ホール
(650円~/1時間)



フィットネスルーム
(220円/1時間)



キッズルーム (無料)

2階



2階交流スペース (無料)



活動室B
(140円/1時間)

3階



個人学習ルーム (無料)



音楽スタジオA
(170円/1時間)



アトリエ
(140円/1時間)

場所のご案内



所在地 銀座1-1-1

駐車場 73台
(身体障害者用2台を含む)

駐輪場 44台



はにぼん号も
ご利用ください!



はにぼんプラザに「はにぼん号」の停留所が加わりました。本庄北・本庄南の両エリアのはにぼん号が運行します。
★企画課 ☎1157